

古くから馬産地として知られ、土質や厳しい気候から、不毛の原野、とも言われていた三本木原台地は、今から百六十年ほど前、新渡戸傳・十次郎親子による近代的農業用水路「稻生川」の完成により、肥沃な穀倉地帯へと大きな変貌を遂げることとなり、当地域は開拓の地、農業の地となりました。

その開拓から約四十年後の明治三十一年に、本校は誕生しました。三本木製糸組合所の一部を仮校舎に「青森県農学校」として開校以来、本校は、今日まで百二十四年間という長きにわたり、歴史と伝統の糸を紡いでまいりました。

そして今年、三本木農業高校として脈々と受け継がれてきた「三農魂」というたすきを、本校と十和田西高等学校、六戸高等学校が統合する三本木農業恵拓高校へと引き継ぐこととなります。

この大きな節目に際し、生徒、教職員、関係者が一堂に会して、これまでの歴史や功績等に思いをはせるとともに、志新たに歩みを進めていくことを期すため、本日、継承記念セレモニーを挙行いたしましたところ、青森県教育委員会教育長 和嶋延寿様、十和田市長 小山田久様他、ご来賓の皆様にご臨席賜りましたことは、私共のこの上ない喜びであり、誠に嬉しく存じます。本校を代表し、深く感謝申し上げます。

また、これまで本校のため、長きにわたりご支援・ご協力を賜りました皆様方、そして、本校の礎を築き本校発展にご尽力くださいました諸先輩方、教職員、同窓生各位に対し、心から敬意と感謝を表します。

さて、改めて本校の歴史を紐解きますと、明治三十一年十月、獣医師養成の獣医科と農業者育成のための農科を併せ持つ、本県初の職業学校、「青森県農学校」として設立されました。その頃は、日露戦争への道を突き進んだ時代であり、当地域には優秀な軍馬の生産と農地の開墾による食糧増産が求められ、まさに時代の要請を受けたものであったろうと思います。

当時の校舎は三本木村小稲地区、現在の三本木高校の地に建設され、三農 小稲校舎として親しまれました。また入学生の出身地は、県南地域にとどまらず県下全域に及び、特に獣医科は、後に全国から志願者があり、多くの獣医師を世に送り出してきました。

その後本校は、本県に全国有数の軍馬補充部などがあつたことから、明治三十四年四月「青森県畜産学校」、六月には「青森県立畜産学校」へと校名が改称され、いわゆる畜産学校時代が始まりました。

大正八年に、従来の科に養蚕科を加えた「青森県立三本木農学校」に校名を改称。さらに、太平洋戦争戦時下の昭和十八年には、農業土木科が加わり、「青森県三本木農業学校」へと改称されました。

そして、昭和二十三年、戦後の学制改革により、現在の「青森県立三本木農業高等学校」となりました。実に六度の校名改称や学科の変遷を重ね、現在の校名に至っております。

また、学科の構成も時代の移ろいを映す鏡のように、幾多の変遷を遂げてまいりました。

とくに学制改革以降は、農業科や畜産科、農業土木科、林業科、商業科、生活科、農業経済科、農業機械科の他、普通科も一時期設置されるなど、学びの分野が多種多様な範囲に及んでおり、創立以来、本校が設置した学科数は二十四学科にもなります。

このように本校は、明治、大正、昭和、平成、令和と時代を変遷し、重ねてきた輝かしい年月とともに、全国有数の農業高校として、これまで二万三千余名の卒業生を輩出し、地域のみならず全国そして世界で活躍する人材を送り出してまいりました。

しかしながら、昭和三十年代以降、高度経済成長による産業構造の変化に伴い、農業を取り巻く環境も大きく変わり、農業や農業高校に対するイメージも変化して、その存在意義に危機感を抱くようなこともありました。

そのような状況にあっても本校は、熱い志をもった先生方や同窓生、保護者の力添えにより、部活動では、伝統の相撲、サッカー、さらにラグビー、アーチェリー、馬術など、三農魂を如何なく発揮して全国大会で活躍するなど、三農の底力を示し続けてくれており、中にはプロの世界で活躍するOBもいます。

農業クラブ活動では、各種発表や技術競技、合わせて二十六個の全国大会最優秀賞、日本一を獲得し、屈指の農業高校として全国から目標とされる存在になりました。

また、本校の活動が映画や演劇作品の題材になったり、書籍や教科書として販売されたりするなど、社会からも高い評価をいただいております。

それもこれも、日ごろの鍛錬、日々の地道な活動の積み重ねがあつてこそのこと、現在の三農においてもなお、良き伝統として受け継がれています。

来る四月には、この高清水の校舎は校名が改まります。統合する三校それぞれのよさを取り込みながら、さらにグレードアップした三農として、百二十五年目の歴史を刻んでまいります。

これまで同様、社会の変化に対応しながらもその礎は変わることなく、志を高くし人と関わり合いながら切磋琢磨する学び舎を、そして地域農業及び地域産業を支える人財を育成する、地域に根ざした学校をつくることに努める所存です。

また卒業生には母校の誇りと志を胸に社会で活躍してもらいたい、そして在校生には恵まれた環境で勉強やスポーツに励むことができることに感謝して、三農を愛し、ふるさとを愛し、夢に向かって学び続けてほしいと願っています。

結びに、これまでの本校の教育活動にご支援、ご協力をくださった全ての方々に、心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和五年二月二十七日

青森県立三本木農業高等学校

校長 中村 豊